

令和2年（2020年）7月豪雨 （第7回）非常災害対策本部会議

議 事 次 第

日時：令和2年7月13日（月）18:20～

場所：官邸4階大会議室

1. 開会 【内閣官房長官】
2. 気象の概要 【気象庁長官】
3. 被害状況等報告 【内閣危機管理監】
4. 各省庁の対応状況 【各省大臣等】
5. 内閣総理大臣発言 【内閣総理大臣】
6. 閉会 【内閣官房長官】

(土砂災害、河川の増水や氾濫、低い土地の浸水に警戒)

<12日からの見通しの変化> 14日にかけて日本海を進む低気圧が発達する見込みとなり、九州北部地方と九州南部、関東甲信地方で予想雨量が増え、警戒級の可能性の高い地域が西日本、東日本に広がった。

<概況> 梅雨前線が黄海から西日本を通り、伊豆諸島付近にのび、前線上の黄海の低気圧が東北東に進んでいる。西日本の日本海側を中心に雨が降っており、これまでの大雨により東北地方と九州北部地方を中心に土砂災害の危険度が高い所がある。

<気象の見通し> 低気圧は14日にかけて日本海を東北東に進む。前線は、13日は西日本を北上、14日は東日本、東北地方を北上、西日本付近を南下する。西日本では14日にかけて、東日本では14日に雷を伴った激しい雨や非常に激しい雨が降り、大雨となる所がある見込み。15日は西日本、東日本の太平洋側に停滞する前線や低気圧の影響で大雨となり、少なくとも15日まで大雨が続くおそれ。前線は16日頃にやや南下、その後17日以降は本州付近を北上するものの活動は次第に弱まる見込み。

<警戒事項> 土砂災害、河川の増水や氾濫、低い土地の浸水に警戒。竜巻などの激しい突風や落雷に注意。各地の気象台が発表する警報等の気象情報や気象庁ホームページの危険度分布に留意。

実況と予想される雨量 (多い所) 単位ミリ

■ 昨日から予想雨量が増えた地域

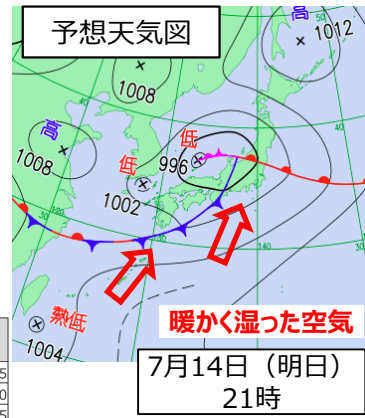
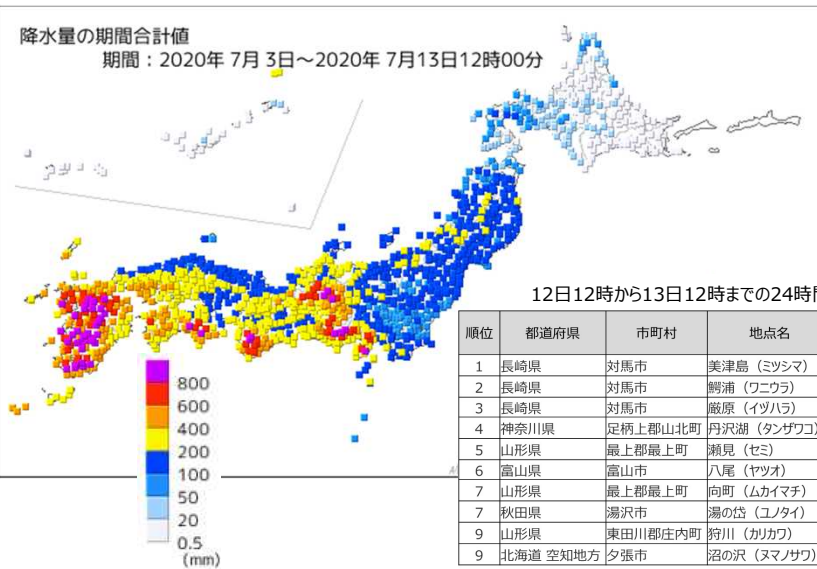
	降り始め(3日)から13日12時までの総雨量	14日12時までの24時間雨量	15日12時までの24時間雨量	15日12時までの48時間雨量
東北地方	248.0	40	50~100	100~150
関東甲信地方	1239.5	180	50~100	180~250
北陸地方	347.0	180	50~100	180~250
東海地方	1002.5	150	100~150	200~300
近畿地方	1211.0	150	100~150	150~250
中国地方	452.5	150	50~100	150~200
四国地方	1353.5	200	50~100	200~300
九州北部地方	1249.0	250	およそ50	250~300
九州南部	1156.0	150	50~100	150~250

<熊本県の見通し> 熊本県(天草・芦北地方、球磨地方)では梅雨前線の影響で、これから14日昼過ぎにかけて雨となり、13日夜遅くから14日昼前にかけて雷を伴い激しい雨や非常に激しい雨が降る所がある見込み。15日12時までに予想される48時間雨量は熊本県の多い所では、250から300ミリの見込み。

大雨の警戒級となる可能性のある期間

■ 可能性がある ■ 可能性が高い

	日 時	13日		14日	15日
		12~18	18~6	6~24	
東北地方	大雨				
関東甲信地方	大雨				
北陸地方	大雨				
東海地方	大雨				
近畿地方	大雨				
中国地方	大雨				
四国地方	大雨				
九州北部地方	大雨				
九州南部	大雨				



熊本県芦北町付近の天気 (13日11時)

